

シンポジウム & ワークショップ



平成 **24** 年 **2** 月 **4** 日 [土]
13:00-17:00(12:00 受付開始)

場 所 福井大学 総合研究棟 I (13階)
文京キャンパス 福井市文京3-9-1
対象者 小・中・高の教員および学部生・大学院生
参加費 無料

お問い合わせ先
福井大学教育地域科学部教授 伊禮三之
Tel 0776-27-8932
(事前申し込みは特に必要ありません)

主 催: 福井大学教育学研究科 教育内容・教材開発研究会
後 援: 福井県小学校教育研究会社会科部会
福井県中学校教育研究会社会科部会

外部専門家との連携による授業・教材開発の在り方と課題 — 「法教育」を事例にして —

シンポジウムの概要

新学習指導要領の施行に伴い、社会科では、「法教育」や「金融・経済教育」といった新しい「内容知」が加わり、それらに対応した授業開発が緊喫の課題になっている。

従来教えていない内容を新しく授業に取り上げることになり、普段から多忙な教員にとって一層の「負担感」を感じさせることになるだろう。その「負担感」を少しでも軽減する方法として外部専門家との連携による授業・教材開発がある。

本シンポジウムでは、今回の新学習指導要領の改訂で注目されている「法教育」に焦点を当てて、新学習指導要領下では、どのような「法教育」の実践が求められているのかについて論じる。シンポジストにはご自身が行った「法教育」実践について報告をして頂き、またその際、外部専門家とどのように関わり実践を作ったのかについて論じて頂く。その後で、外部専門家との連携による授業・教材開発の有効性と課題についてシンポジストとともに検討していきたい。

基調講演 13:00-14:10

- 「新学習指導要領の趣旨と『法教育』」
大杉昭英 (岐阜大学教育学部教授)

広島大学教育学部教科教育学科卒、同大学院博士課程前期修了。
広島県高等学校教諭、広島県教育委員会指導主事、
文部省初等中等教育局教科調査官、視学官を歴任。H19年より現職。

シンポジウム 14:20-16:00

- シンポジスト
菊地八穂子(石川県金沢市立諸江町小学校教諭)
森田史生 (福井大学教育地域科学部附属中学校教諭)
坪田亮二 (福井県立高志高等学校教諭)
野坂佳生 (福井弁護士会弁護士・金沢大学法務研究科教授)
他、福井弁護士会所属の弁護士の先生方
- コメンテーター
大杉昭英 (岐阜大学教育学部教授)
- コーディネーター
橋本康弘 (福井大学教育地域科学部准教授)

ワークショップ 16:10-17:00

- 小中学生を対象とした食材別料理集の考案
村上亜由美(生活科学教育講座)
前田恵子 (教育学研究科教職開発専攻・院生)
- フェルトボールと応用作品の製作
服部由美子・松田淑子(生活科学教育講座)
吉田奈保美(教育学研究科生活科学教育領域(家政)・院生)
前田恵子(教育学研究科教職開発専攻・院生)
- 2進数によるマジックや暗号遊び
伊禮三之(理数教育講座)
- 理科の授業を楽しくする物理教材
栗原一嘉(理数教育講座)
- 地域に魅せよう学生の子・カ・ラ:学生による地域への提案
木村 亮(附属地域共生プロジェクトセンター)
青木聖太(教育地域科学部地域科学課程公共政策系・3年)
春日隆大(教育地域科学部地域科学課程公共政策系・3年)